

Master
目利きの学校
食用油の選び方

Cooking
本郷佳子の
五感が喜ぶクッキング
切干大根のエスニック風サラダ

People
山崎 努

捨てない生活のすすめ
不用なものを生かせる場所へ

Close Up



↑「リ・ファッションコンテスト」の応募作品。古着だけでなく、帯揚げやスカーフも洋服に生かされる

Sustainable life

寄付という生かし方

家庭でいちばん多くしまわれている不用品は衣類だろう。「どこも傷んでないがサイズが合わなくなった」「品質はよいが、流行遅れ」「母の手づくりで捨てられない」などさまざま理由でしまいこんである衣類。思い入れはあるものの、活用がいちばん難しいものだろう。しかし、こんな利方法がある。

(一社)日本リ・ファッション協会では、通年で不用品の回収を行っている。集められた衣類は、シングルマザーの就職支援やリメイクデザイナーへの素材として提供、支援物資など、リユース(再利用)やリフォーム

として生かされている。流行遅れであつてもよく、洋服、和服、生地のかにもアクセサリなどの装身具やぬいぐるみも受け付けている。送料は送り手の負担だが、まだ使えるものがどこかで役に立つと思えるのはうれしいものだ。

また、オンライン寄付サイト「Give One」では「寄付をする」から「物品寄付をする」を開くと、支援物資を受け付ける団体のリンク集がある。それぞれの団体の情報を読んだら、各団体の基準に適したものがあれば、物品を送るのもいいだろう。

ものの命をまっとうさせる

不用品を捨てずに生かすためには、

行き先を見つけるための情報収集が欠かせない。自治体の広報紙以外にも新聞記事などにリユース情報を見つけたことができる。また、インターネットでは環境関連のサイトに情報が

いくつかな不用品の回収情報を紹介すると、下着メーカーでは、期間限定だがブラジャーの回収を行っている。カジュアル用品メーカーはTシャツやフリースの回収、家電量販店ではデジタル機器の買い取りをはじめた。また、不用陶磁器の回収も行われている。これらは地域によって状況が違

うだろうが、不用品が生かせる情報にいつもアンテナを張っておきたい。まだ充分に使用できるものを捨て



↑アースデイ東京2012の会場にてファッションアイテムを無料交換する「エクスチェンジ」のブース。各地でイベントを開催。詳細は<http://letsxchange.jp/>

るのは心苦しいものだ。「捨てない生活」はものの寿命をまっとうさせる生活でもある。自分で最後まで使い切ることは難しいが、処分する際には少しでも多くのものの行き先を見つけていきたいものだ。

INFORMATION

- EICネット
<http://www.eic.or.jp/>
(一財)環境情報センターが運用する環境情報・交流ネットワーク。リサイクル関係のニュースなど豊富。兄弟サイト「エコナビ」も役立つ。
- MOTTAINAI
<http://mottainai.info/>
もったいないを解決する情報が集まっている。「MOTTAINAIフリーマーケット」では、ビニール傘やCD、家庭用食用油の回収も行っている。
- 神奈川県葉山町HP
<http://www.town.hayama.lg.jp/>
ごみ処理問題に熱心な自治体。トピックスの「ごみゼロ」のページからコンポストの使い方などの詳しい情報が得られる。
- (一社)日本リ・ファッション協会
<http://www.refashion.jp/>
ファッションから循環型社会を目指す団体。不用品回収はサイト内の「リ・ファッションラボ」に詳細情報がある。